



(写真左)プロジェクトの際に、初めて知ったという県外メンバーたちもいた「うごぎ」。早速使って、在校生・新入生交流会の際にふるまったお菓子は、あっという間に無くなるほど大好評!



栄養大1年
岩館 咲良さん

スタジオ八百萬代表

山田 茂義さん



短大の中川先生や学生たちと一緒に『山形おやきゼミナール』という学びの場をつくっています。学生たちは『山形おやき』のメニュー開発やレシピコンテスト、おやきの本場長野県への視察などを行おうと活動しています。



「メニューを考えてみたい」「この食材を試してみよう」と意欲的な学生ばかりです。『山形おやき』に触れることで、楽しみながら課題を見つけるきっかけになればと思っています。与えられたテーマでなく、自分なりの興味や疑問を見つけて探求してほしいですね。どんなメニューを開発してくれるか楽しみです。一つひとつ課題をクリアしながら作り上げていく楽しさを共有したいです。



授業で学んだことを生かせる場

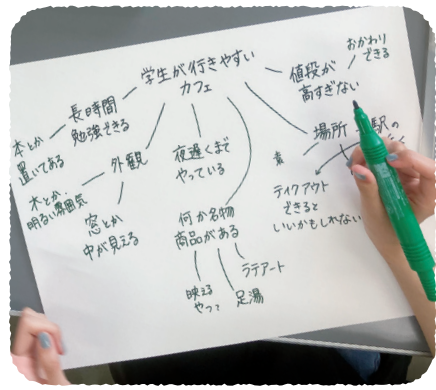
しています。個々の得意を生かし、皆で協力しながら、自分たちの関心事をカタチにしていこうと取り組む学生たちの姿は自然体で、気負いはありません。リーダーを置かず、参加する全員が中心メンバー。時には失敗しつつも、多くの経験を積むことで自身の成長に繋げていければと考えています。

『山形おやき』と『ハーブガーデン』の両方で活動する西田さんは、高校生だった昨年から映えカフェに興味を持っていたそう。『栄養大のホームページで紹介されているのを見て、入学を楽しみにしていました。企業とコラボして活動できることに魅力を感じています。岩館さんもきっかけは同じ。『入学したらプロジェクトに参加しよう』と思って

短大1年
成田 小梅さん



『山形おやき』と『ハーブガーデン』の両方で活動する西田さんは、高校生だった昨年から映えカフェに興味を持っていたそう。『栄養大のホームページで紹介されているのを見て、入学を楽しみにしていました。企業とコラボして活動できることに魅力を感じています。岩館さんもきっかけは同じ。『入学したらプロジェクトに参加しよう』と思って



いました。『ハーブガーデン』と『山形おやき』を選んだのは、新しいことに挑戦してみたかったからです。『英会話カフェ』をメインに活動している成田小梅さんは、「普段は社会情報を学んでいるので、『英会話カフェ』に入ることは正直ハードルが高かったです。いざ入ってみると、学科関係なく自分がやれそうなことをやるという感じで、私は事務業務やポスター作りを担当しています。違う大学や学科の人たちとも繋がりが持ててうれしいです」と笑顔で答えてくれました。小林日世子さんは「授業で習った英会話を使える場所があればいいなと思って、自分からは行動に移せなくていました。でも、このプロジェクトなら一歩踏み出せるかもと感じたんです。踏み出したことで

短大2年
津藤 優菜さん

短大1年
小林 日世子さん



人と繋がり、広がった世界

仲間もでき、学生生活がより楽しくなったとうれしそう。『海外出身の人と交流しながら、学生時代にいろんなことを学べるのは、『英会話カフェ』の強み』と話す、津藤優菜さんの表情からも充実した生活を送っている様子が伝わってきます。

『栄養大の倉持さんはフィールドワークに魅力を感じたひとり。『入学してしばらくは他の学生とコミュニケーションを取ることはあまりありませんでした。プロジェクトのことを知り、折角の機会だから短大生と繋がりたいと思ったのが入ったきっかけです』。望んでいた短大生との繋がりはもちろん、フィールドワークで、地域の人たちとも繋がることができ、世界がぐっと広がったそう。鈴木さんも「もともと、地域交流や地域の課題に興味がありました。このプロジェクトが地域活性化に繋がったと思っています。『自分ができることが増えたな』と思っています。初めてポスターを作ったり、苦手だと思っていた人と話すことが、実は好きなものかもしれない。気づいていたり。プロジェクトに参加したことで可能性が広がったと感じています」と自身の変化を感じ取っているようです。



山形県立米沢栄養大学・
米沢女子短期大学学長
阿部 宏慈さん

学生たちの成長を感じるところは?

社会に出ると仕事はもちろん、さまざまな場面でコミュニケーション能力が求められます。その力は多くの人と関わることで養われていきます。最初は人前で話すことに慣れていなかった学生たちが、プレゼンテーションなどを経験することで上手になっている姿を見て成長を感じています。

学生のみなさんへ

学生のみなさんには、地域の人たちに見守られ、大切にされていることをもっと知ってほしい。若いアイデアで、地域の未来をつくるお手伝いをしてもらえたらと思います。失敗を恐れず、みんなでコミュニケーションを取りながら楽しく活動が続けてほしいです。

学生たちが活動している様子を見かけたら、地域のみなさんへ声をかけていただけたらうれしいです。励みになります。

強くなら、米沢への思い

キャンパスの中だけにいては知り合うことのない地域の人と触れ合えるのもこのプロジェクトの楽しさ。自分たちが住む地域のことを知るきっかけにもなっています。『以前は学校と家との往復だけの毎日でしたが、参加してから他のところへ出て行く機会が増え、新鮮な気持ちにな



『映えカフェオープンプロジェクト』

山形県立
米沢栄養大学
米沢女子短期大学

活動状況やイベントなど、
大学インスタをチェック!



▲インスタ
@naka.no.hito.yone

プロジェクトについて思うことは?

自ら行動に移すのは大変なことです。プロジェクトがあることで「自分も飛び込んでみよう」という気持ちが生まれているようです。短大での総合的な学びを生かして街の課題を考えたり、栄養のプロを目指す学生たちが地域の食材を使ったメニュー開発を行ったり、地域の人と関わりながら貴重な学びの機会をいただいています。

(写真右)米沢駅前イルミネーション『ひかりの散歩道』点灯式に出店!
(写真下)大学を会場に行われた『Zakkaの森』にも参加

